

2025年7月1日

S&Pグローバル 日本製造業PMI®

製造業の業況、6月は安定して推移



PMI®

by **S&P Global**

Essential Intelligence

2025年7月1日

S&Pグローバル 日本製造業PMI®

目次		本レポートについて
主な動向	製造業セクター	S&Pグローバル日本製造業PMI®は製造業の最新の業況を提供します。本レポートでは、代表的な製造業の調査対象企業に対する調査の回答をもとに、生産、需要、雇用、価格、サプライチェーンの毎月の変化を追跡します。
概観	世界的供給不足	
コメント	データ	
生産高と需要	世界のPMI	
雇用と生産能力	調査手法	
サプライチェーン	詳細情報	
価格		
価格変動／不足が報告された品目		

PMI (購買担当者指数) について

「購買担当者指数™ (PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。

PMI®

by S&P Global

© 2025 S&P Global

主な動向

2025年6月

生産高は10か月ぶりに増加に
転じるも……

……売上高はさらに減少し、
低調な需要環境が続く

今後1年間の見通しに対する
景況感が上向く中で、雇用は
増加傾向を維持

S&Pグローバル
日本製造業PMI
2025年6月

50.1

PMIは0～100の間で変動する季節調整済みの値です。50を超えれば前月比で増加したことを、50を割り込めば前月比で減少したことを意味します。PMIは新規受注、生産高、雇用、サプライヤー納期、購買品在庫を追跡する5つの指数の加重平均です。調査方法の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。



製造業の業況、 6月は安定して推移

最新のPMIデータによると、6月の日本の製造業全体の業況は概ね安定して推移。生産高が増加に転じて主要指数の押し上げに寄与したが、需要については新規受注数と輸出売上高の減少が続き、引き続き力強さに欠ける状況が見られた。

それでも企業の景況感は2か月連続で改善し、今後数か月の事業活動拡大への期待が膨らむ中、企業らは雇用者増へと動いた。一方、平均購買コストは前月より速いペースで上昇し、そのため製品価格の上昇ペースもやや加速した。

6月の主要指数のS&Pグローバル日本製造業購買担当者指数™ (PMI®) (製造業の業況を総合的に表す指標)は、5月の49.4から中立の50をわずかに上回る50.1に上昇。そのため最新の数値は、過去11か月間悪化が続いていた製造業の業況が6月は概ね安定して推移したことを示した。

主要産業グループ別データによると、業況は消費財企業では改善したが中間財セクターおよび生産財セクターではやや悪化した。

主要指数の押し上げに寄与したのは、6月の生産高が増加に転じたことだった。生産高の増加は、緩やかなペースではあるが昨年8月以来初めてで、一部の調査対象企業は、今後数か月の顧客需要改善への期待から生産高を引き上げたと回答した。他に生産高の増加が受注残の解消にも寄与したと指摘した企業もあった。

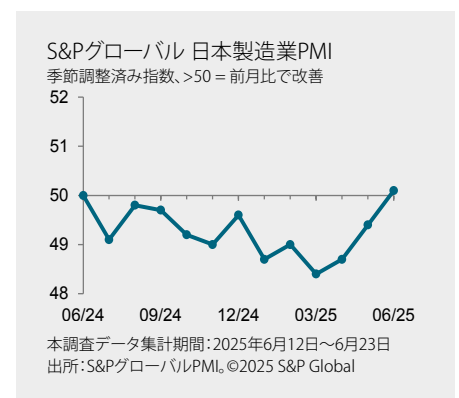
全体的な需要環境は6月も引き続き低迷した。企業らは総新規受注数がさらに減少したと指摘。減少ペースは5月からやや加速したものの、緩やかなペースにとどまった。米国の関税政策や長引く先行き不透明感が販売を押し下げたという報告もあった。同様に、6月の新規輸出受注も顕著なペースで減少。調査対象企業はアジア、欧州、米国など主要市場全体で需要が弱まったと指摘した。

低調な顧客需要は企業らの購買活動に対する慎重姿勢の維持につながり、6月の購買数量はさらに減少した。とはいえ、その減少幅は、減少が続いた過去9か月間の中では最も小さかった。企業らは在庫水準についても慎重な姿勢を維持し、完成品在庫が小幅に減少した一方で購買品在庫はほんのわずかな増加にとどまった。

サプライヤー業況の平均は悪化が続いた。ただリードタイムの長期化は全体的にはわずかなものとどまった。調査対象企業によると、サプライヤー側の在庫不足や人手不足が納期遅れの一因だった。

日本の製造業全体の雇用は、6月も増加傾向を維持。雇用増のペースは緩やかだが、6月のペースは過去14か月で最も顕著だった。企業は多くの場合、欠員の補充や顧客需要回復への期待から雇用水準を引き上げたと指摘した。

生産高の増加に加え、人員配置能力の向上が受注残のさらなる解消を後押しした結果、受注残の全体は着実に減少した。



5月に14か月ぶりの低水準まで和らいだ平均購買価格のインフレ率は、6月はやや加速。全体的には高止まり状態が続いた。企業らは、原材料費、人件費、エネルギー費、輸送費など、さまざまな購買品の価格が上昇したと指摘した。

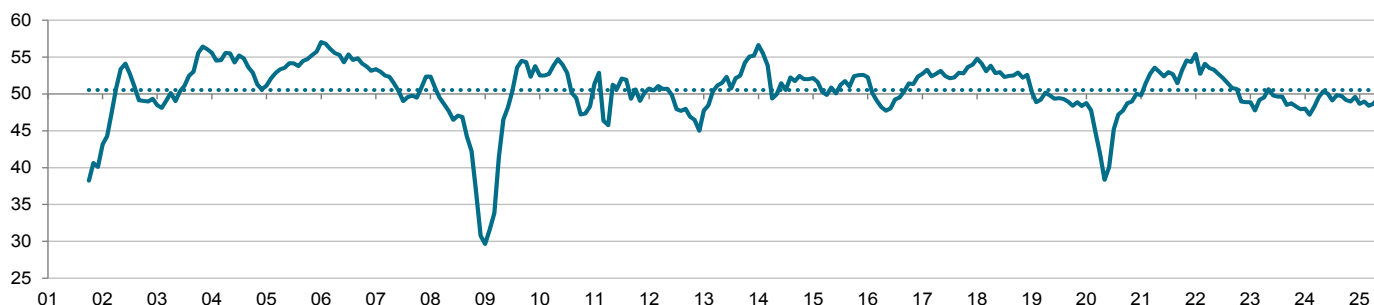
企業らは6月も、販売価格の引き上げによって高まるコスト負担の一部を転嫁しようとしたため、製品価格のインフレ率はわずかに上昇して3か月ぶりの高水準を記録した。

日本の製造業は概ね、今後1年間で生産高が上昇すると予想。全般的な景況感は1月以来の高水準まで改善した。市場環境が好転して売上高が増加するという予想が成長予測を支えた一方で、事業拡大計画や新製品発売に言及する企業もあった。



コメント

S&Pグローバル 日本製造業PMI
季節調整済み指数、>50 = 前月比で改善、点線 = 長期平均



出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

Annabel Fiddes、
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス、エコノミクス・
アソシエイト・ディレクター

「最新のPMIデータは、6月も日本製造業にとって厳しい需要環境が続いたことを示した。企業の売上高は国内外でさらなる落ち込みを記録した。しかし、企業らは将来を見据えればより期待が持てると考えており、そのことが雇用増と1年ぶりの生産水準の引き上げを促した。」

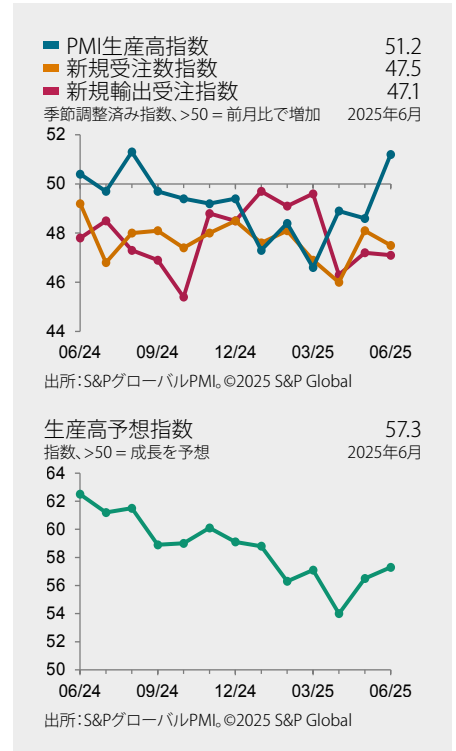
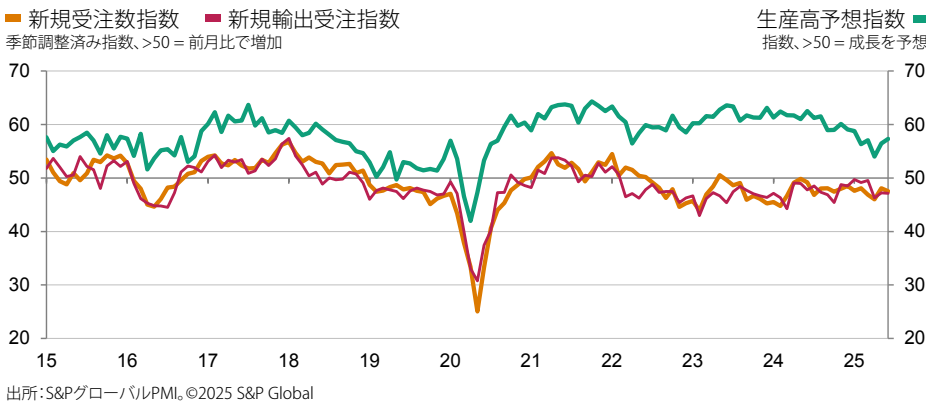
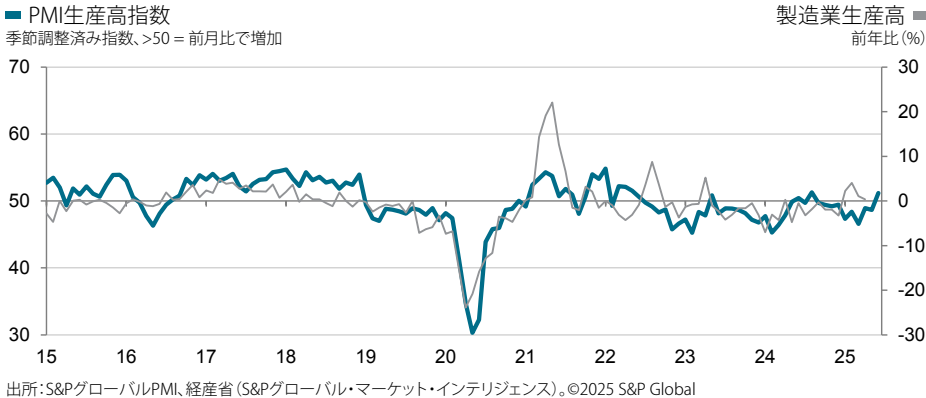
生産高の持続的な回復のためには、米国の関税政策に関する先行き不透明感によって抑制されたままの顧客需要が、再び改善してそれが持続することを見極める必要がある。

一方、価格面では、6月は購買コストと販売価格ともに過去のトレンドを上回るペースで上昇し、インフレ圧力がわずかに強まった。」

お問い合わせ

Annabel Fiddes
エコノミクス・アソシエイト・
ディレクター
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
電話: +44-1491-461-010
annabel.fiddes@spglobal.com

生産高と需要



最新の調査データによると、日本の製造業全体の生産高は6月に再び増加へと転じた。

そのペースは緩やかだったが、今回の増加で9か月間に及んだ減少期間に終止符が打たれた。需要環境に回復の兆しが見られる中で生産高を引き上げたと報告した企業がある一方で、受注残の解消のために生産を拡大したと報告した企業もあった。セクター別データによると、生産高は消費財企業と中間財企業で増加したが、生産財企業では減少した。

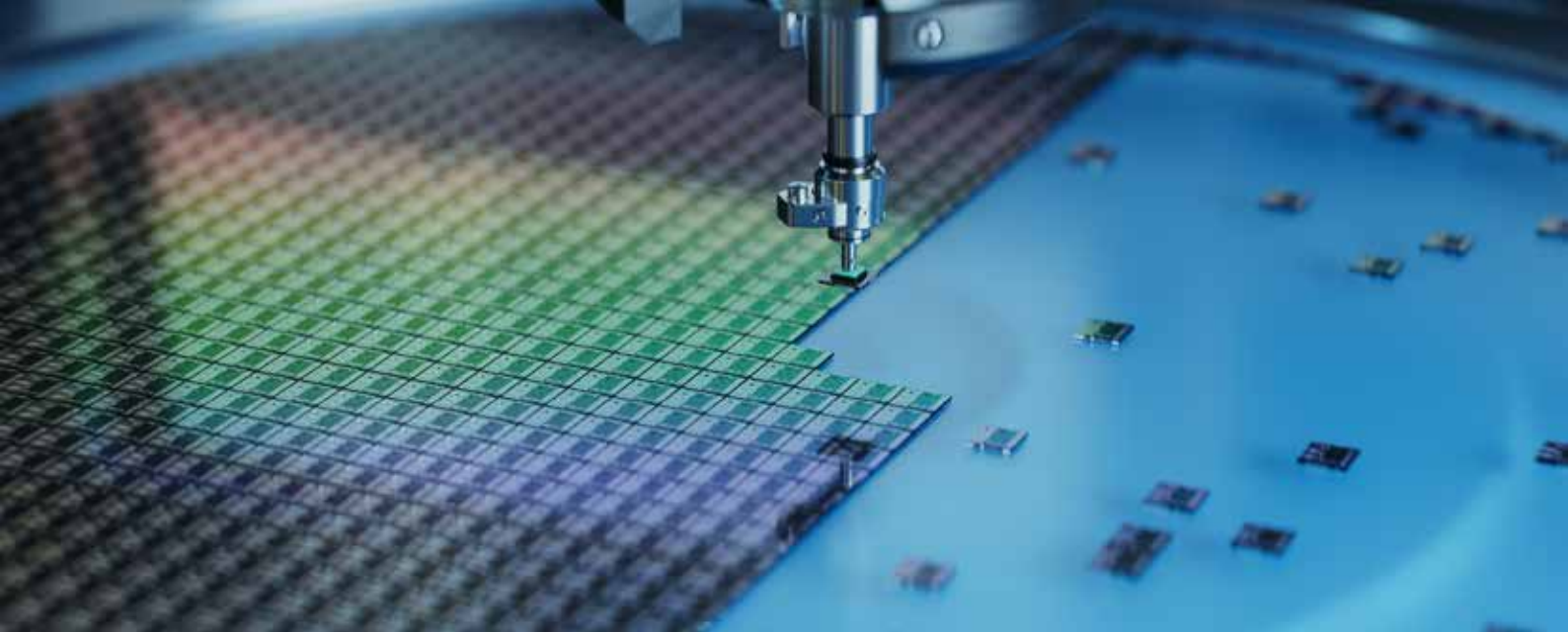
日本の製造業の総新規受注数は6月も再び減少。現在まで減少が続く期間は今月でちょうど2年を超えた。減少ペースは前月からわずかに加速したが、全体的には緩やかな

ペースにとどまった。企業の実態を見る限り、米国の関税政策や漠然とした先行き不透明感が、新規注文への顧客の慎重姿勢を強める要因となった。特に、半導体産業と自動車産業で需要が低迷しているという指摘があった。総新規受注数は消費財企業では増加したが、中間財セクターと生産財セクターでは減少した。

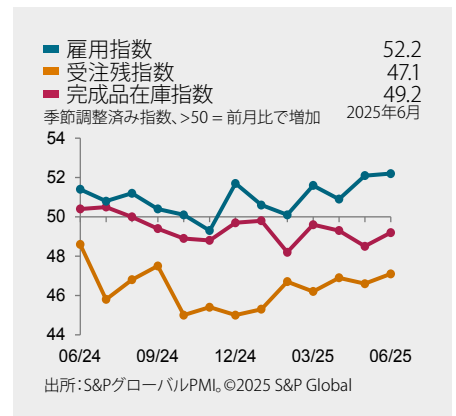
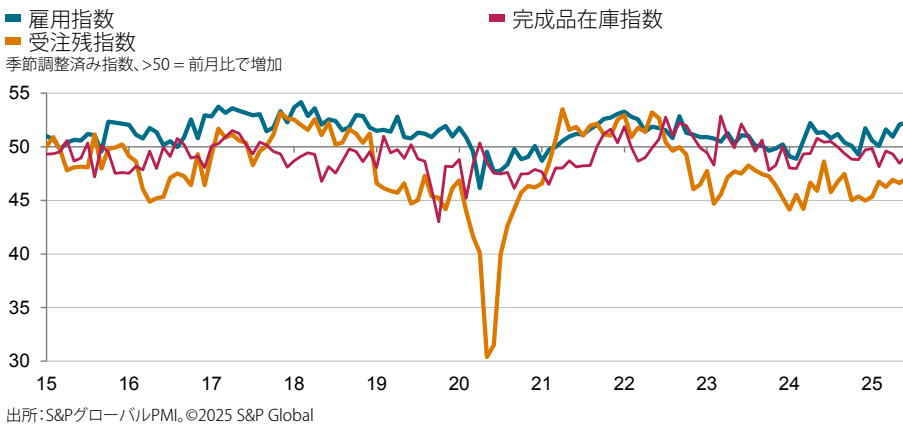
6月は日本製品に対する海外需要も鈍化。新規輸出受注は、第2四半期末時点で40か月連続での減少となった。特に東アジア、欧州、米国など、さまざまな主要輸出市場における需要環境の低迷が報告された。

今後1年間の生産高予想について、6月の日本製造業の見方は概ね楽観的だった。全般的な景況感は、調査史上平均値をわずかに下回ったものの、過去5か月で

最高だった。今後1年間で生産高の増加を予想する企業は、市場環境と顧客需要の回復に期待を寄せていた。多くの企業が、生産工場の規模拡大計画や新製品の発売についても言及した。



雇用と生産能力



昨年12月から増加が続いている日本の製造業全体の雇用者数は、6月も増加。

雇用者増はこれで7か月連続となった。雇用者増のペースは緩やかではあるものの、6月はわずかに加速して2024年4月以来の速いペースとなった。雇用者数の増加を報告した企業の多くは、その要因として欠員の補充や今後数か月の事業活動拡大への期待を挙げた。

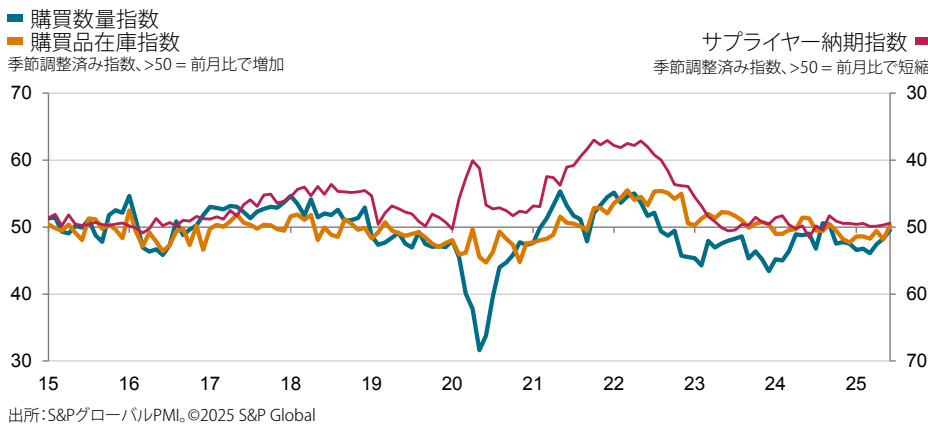
6月は、生産高の増加と雇用者増が受注残のさらなる減少を後押しした。その減少

ペースは5月より鈍化したものの、全体としては着実な減少が続いた。新規受注の取り込みが低調に推移したことで、一部企業では受注残の解消に取り組むことができたという報告もあった。

日本の製造業の完成品在庫は、6月に10か月連続で減少。とはいえ、その減少ペースはこの期間の平均とほぼ一致しており、小幅にとどまっている。在庫水準を引き下げた企業では、その要因として顧客への製品出荷を上げる声が多かったが、顧客需要に応じた在庫調整への取り組みを上げる声もあった。



サプライチェーン

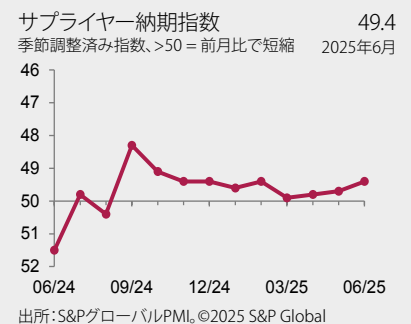
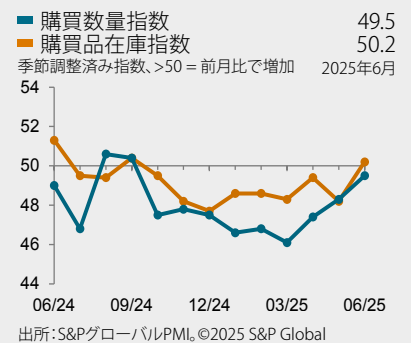


日本の製造業は、第2四半期末時点での購買活動の低下がごくわずかだったことを示唆。

また、その低下幅は、これまで9か月間に及んだ低下期間の中で最も小さかった。購買数量を減らしたと報告した企業の多くは、その理由として販売の低迷に言及した。

購買品が製造企業に配達されるまでにかかる平均納期の長期化は6月も続いた。リードタイムの長期化ペースは、全体的にはごくわずかだが、それでも過去4か月で最も速かった。調査対象企業は、納期遅れの主な要因としてサプライヤー側の在庫不足や人手不足を挙げた。

過去8か月連続で減少していた購買品在庫は、6月にわずかに増加。企業の実態を見る限り、生産需要の伸びや今後数か月の生産高増加への期待が在庫水準の上昇へとつながった。

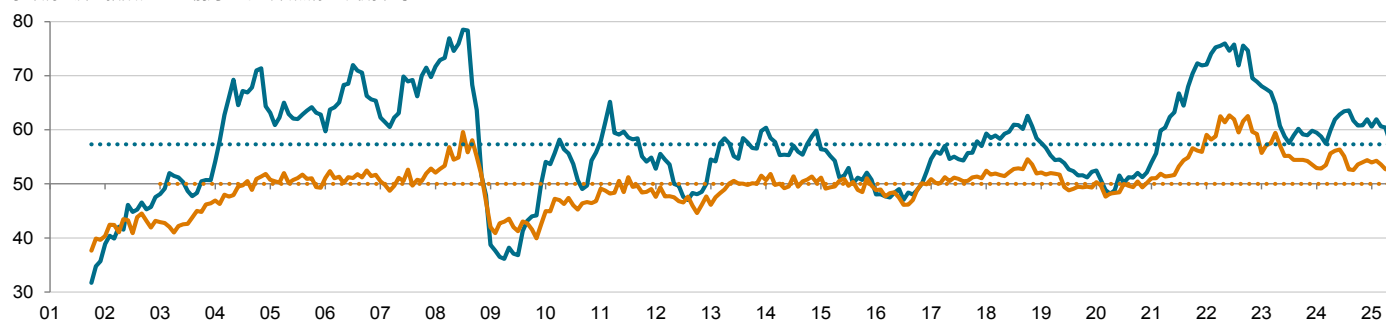




価格

■ 購買価格指数
■ 製品価格指数

季節調整済み指数、>50 = 前月比で上昇、点線 = 長期平均

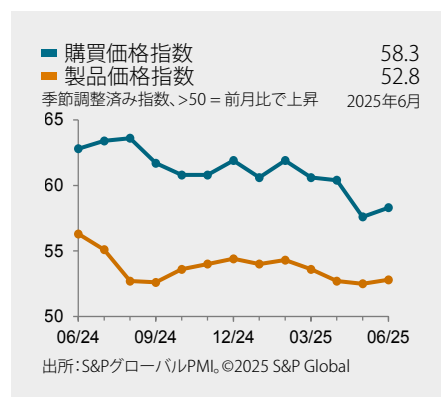


出所: S&PグローバルPML。©2025 S&P Global

日本の製造業の購買コストは6月も引き続き上昇。

インフレ率は5月から上昇したものの、過去15か月で2番目に低い水準だった。それでも購買コストは全体的に大幅に上昇しており、調査対象企業は原材料費、人件費、輸送費、エネルギー費の上昇を指摘した。

6月は日本の製品価格も上昇。上昇率はわずかに加速して3か月ぶりの高水準となり、全体的に根強いインフレが続いた。購買コストの上昇を反映して製品価格を引き上げているという企業の報告が多かった。



出所: S&PグローバルPML。©2025 S&P Global



価格変動／不足が報告された品目

以下に示すのは、今回の調査期間中に価格上昇が報告された品目、下落が報告された品目、供給不足が報告された品目の一覧です。同じ品目が価格上昇と下落の両方に掲載されている場合もありますが、理由としては供給源の違いや（国内調達品か輸入品か等）、発注量に応じた単価の違い等が考えられます。

価格が 上昇した品目

- 金属
- アルミ
- アングル
- ステンレス
- 合金
- 金
- 金属シート
- 鉄
- 銀
- 銅
- 鋼材
- 金属製品
- ケーブル
- ワイヤハーネス
- 金属部品
- 金線
- 電気・電子機器
- インバーター
- コネクタ
- 変圧器
- 集積回路

- 電子部品(日用品)
- 電気モーター
- 化学製品
- アクリルスチレン
- 塗料
- 洗剤
- 潤滑油
- 灯油
- 石油化学製品
- プラスチック
- プラスチック顆粒
- プラスチック
- ポリ塩化ビニル
- 塩ビシート
- 樹脂
- 製紙・木材
- 段ボール
- 紙
- 包装
- ダンボール
- 繊維・織物
- 人造皮革

- 衣類
- 食品
- オレンジ類
- 小麦粉
- 昆布
- 果物
- 米
- 紅茶
- 脂肪(食品)
- 魚
- エネルギー
- 天然ガス
- 液化石油ガス
- 石油
- 電気資材
- 金融
- 廃油処理費
- 費用
- 運輸
- 貨物運送
- 輸送
- その他

- インク
- バルブ
- 備用品
- 印刷
- 原材料
- 基板
- 外注加工品
- 工具
- 材料
- 機械
- 機械加工
- 粉

価格が 下落した品目

- 金属
- アルミ合金
- 型鋼材
- 鋼材
- 鋼板
- 電気・電子機器
- 半導体
- 電気部品

- 化学製品
- PPG
- ブタジエン
- プラスチック
- シリコン
- 食品
- 小麦粉
- 野菜
- エネルギー
- ガス
- ガソリン
- 重油

供給不足の 品目

- 化学製品
- リモネン
- 接着剤
- プラスチック
- プラスチック
- 食品
- オレンジ類
- その他
- 原材料
- 機械
- 金属製品
- 金属部品(圧延した)
- 鋳物
- 電気・電子機器
- 電子計器

製造業セクター

消費財

業況、過去3か月で2回目の改善

新規受注数が増加に転じ、生産高の増加幅を牽引

販売価格の上昇ペース、5か月ぶりの低水準

中間財

販売のさらなる落ち込みにもかかわらず、生産高は増加に転じる

新規輸出受注は着実に減少

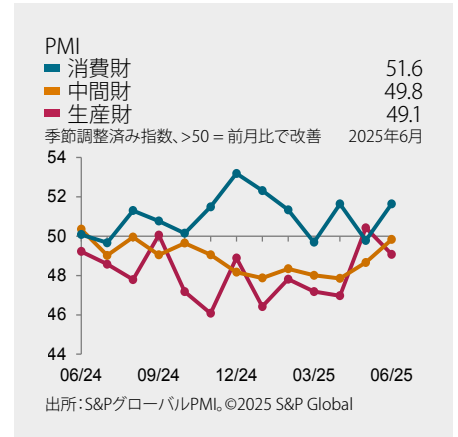
景況感が上向く中、雇用者数は引き続き増加

生産財

新規受注数の減少ペースが加速し、生産高が減少

景況感、記録的な低水準にとどまる

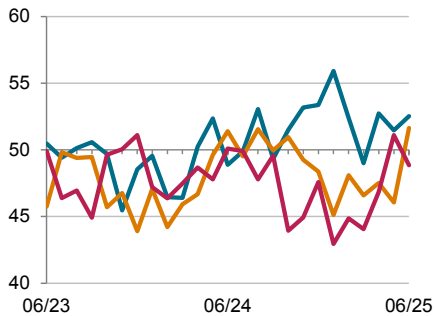
雇用者数は引き続き増加



消費財

生産高指数

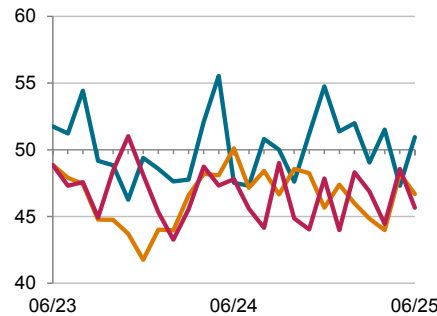
季節調整済み指数、>50 = 前月比で増加



中間財

新規受注指数

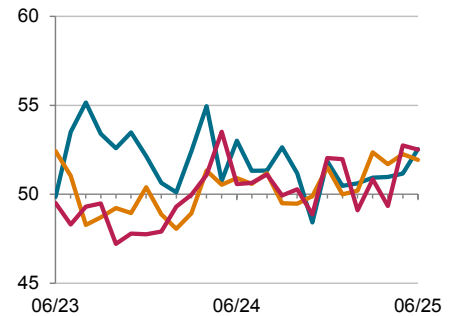
季節調整済み指数、>50 = 前月比で増加



生産財

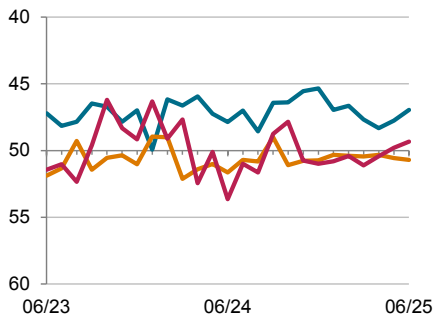
雇用指数

季節調整済み指数、>50 = 前月比で増加



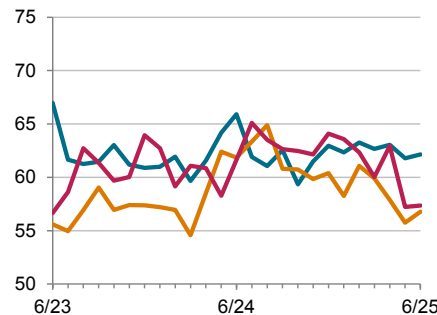
サプライヤー納期指数

季節調整済み指数、>50 = 前月比で短縮



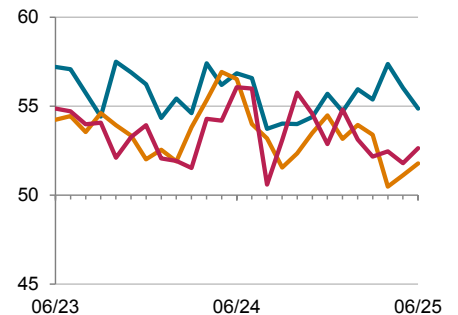
購買価格指数

季節調整済み指数、>50 = 前月比で上昇



製品価格指数

季節調整済み指数、>50 = 前月比で上昇





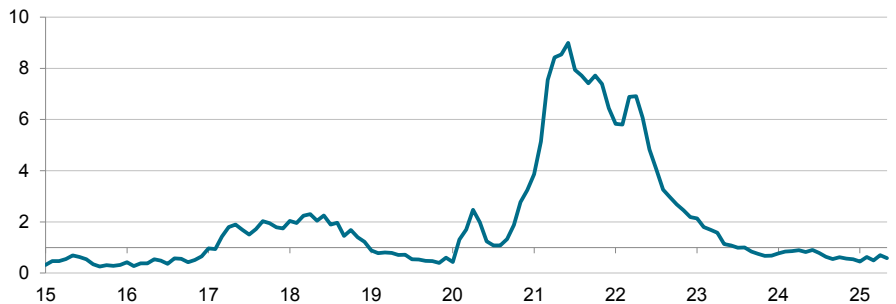
世界的供給不足

PMI調査の回答者には、供給不足が生じている具体的な品目について報告することが推奨されています。この情報は、調査史上平均値に対し、どの程度の供給圧力が生じているかを示す指数に変換されています。

指数は2005年以降の調査史上平均値の倍数として表されます。1.0の値は供給不足が調査史上平均値と一致していることを意味します。1.0を上回る値は供給不足が調査史上平均値を上回っていることを示します。1.0を下回る値についても同様です。例えば、3.0の値は供給不足が通常量の3倍であることを示し、0.2の値は供給不足が通常量の5分の1であることを示します。

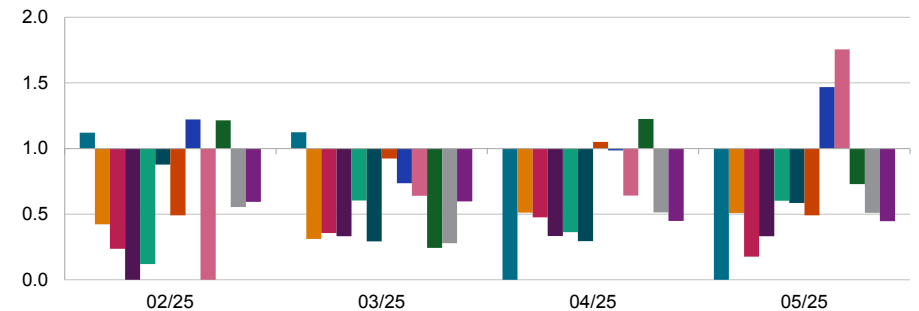
グローバル供給指数は、以下15か国の製造業PMI調査に対する回答をもとに計算されます。ブラジル、カナダ、中国本土、フランス、ドイツ、インド、アイルランド、イタリア、オランダ、ロシア、韓国、スペイン、台湾、英国、米国。

世界的供給不足、全品目
供給不足、長期平均比

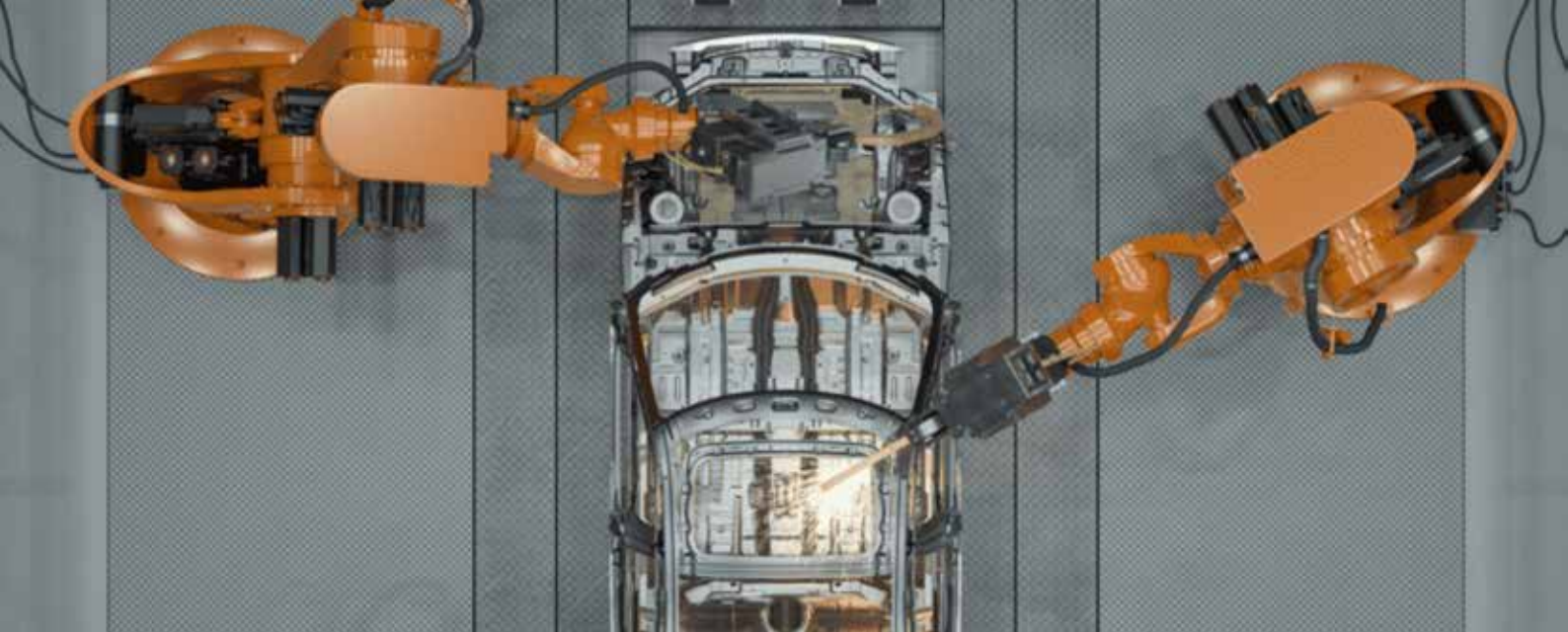


出所：S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

- 石油
- 化学製品
- ポリマー
- ゴム
- 木材
- 紙
- 食品
- 繊維
- アルミニウム
- 銅
- 鉄鋼
- 半導体



出所：S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global



データ

製造業

指数、季節調整済み、50 = 前月から横ばい、*50 = 今後12ヶ月に横ばいの予想

	PMI	生産高	新規受注数	新規輸出受注	生産高予想*	雇用	受注残
01/25	48.7	47.3	47.6	49.7	58.8	50.6	45.3
02/25	49.0	48.4	48.1	49.1	56.3	50.1	46.7
03/25	48.4	46.6	46.9	49.6	57.1	51.6	46.2
04/25	48.7	48.9	46.0	46.3	54.0	50.9	46.9
05/25	49.4	48.6	48.1	47.2	56.5	52.1	46.6
06/25	50.1	51.2	47.5	47.1	57.3	52.2	47.1

	完成品在庫	購買数量	購買品在庫	サプライヤー納期	購買価格	製品価格
01/25	49.8	46.6	48.6	49.6	60.6	54.0
02/25	48.2	46.8	48.6	49.4	61.9	54.3
03/25	49.6	46.1	48.3	49.9	60.6	53.6
04/25	49.3	47.4	49.4	49.8	60.4	52.7
05/25	48.5	48.3	48.2	49.7	57.6	52.5
06/25	49.2	49.5	50.2	49.4	58.3	52.8

出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

製造業セクター

指数、季節調整済み、50 = 前月から横ばい、*50 = 今後12ヶ月に横ばいの予想

2025年6月

	PMI	生産高	新規受注数	新規輸出受注	生産高予想*	雇用	受注残
消費財	49.8	51.5	47.3	50.2	52.7	51.2	47.3
中間財	48.7	46.1	48.2	45.2	58.2	52.3	46.5
生産財	50.4	51.1	48.6	46.2	56.9	52.7	46.0

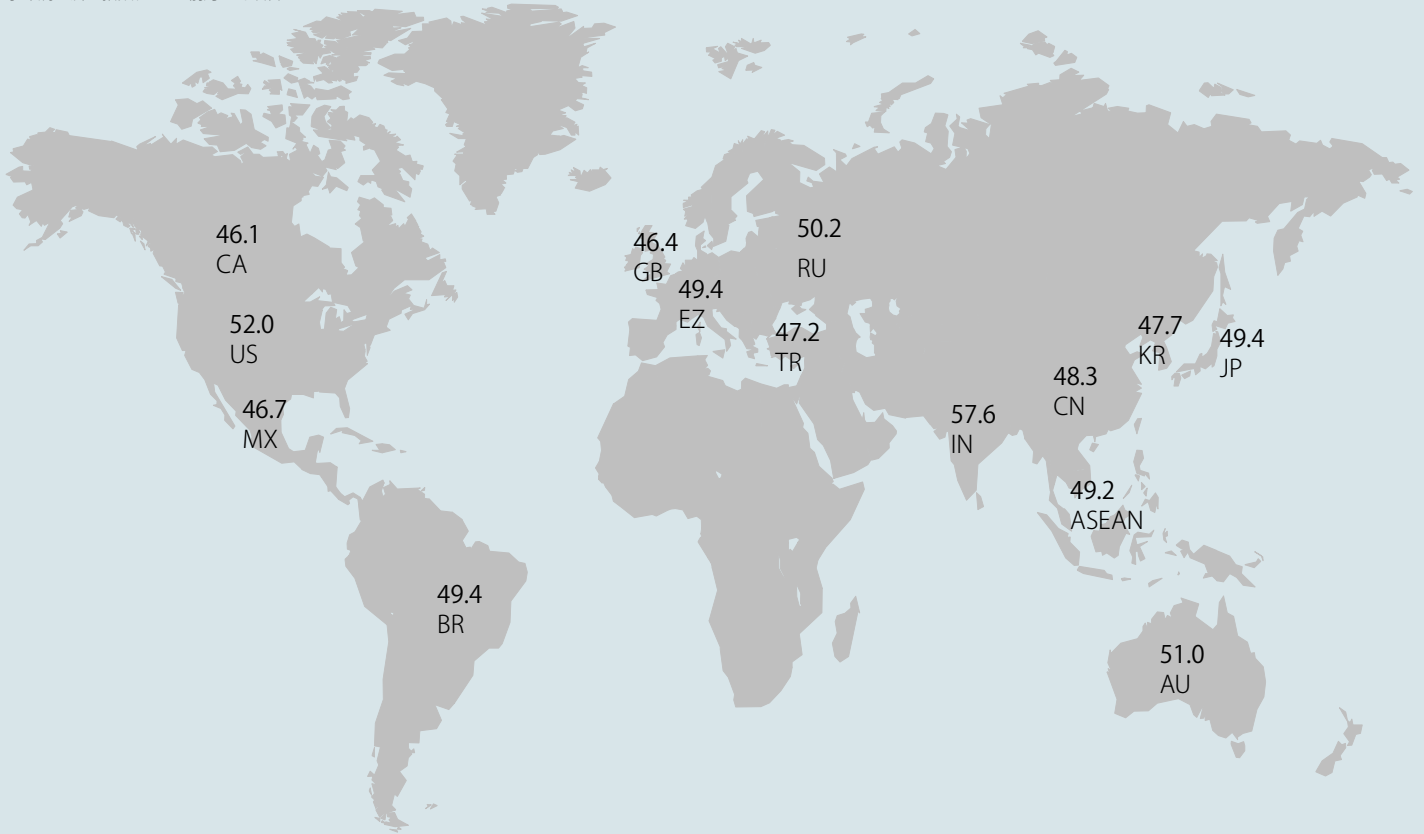
	完成品在庫	購買数量	購買品在庫	サプライヤー納期	購買価格	製品価格
消費財	52.1	49.8	46.6	47.8	61.8	56.0
中間財	48.1	46.1	48.1	50.6	55.8	51.1
生産財	45.3	51.3	49.9	49.8	57.2	51.8

出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

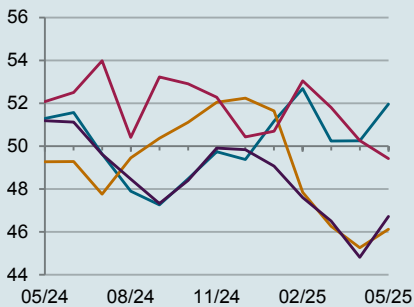
世界のPMI

製造業
季節調整済み指数、>50 = 前月比で改善

2025年5月

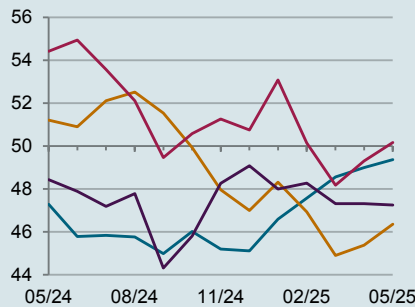


北中南米
■ US ■ CA ■ BR ■ MX
季節調整済み指数、>50 = 前月比で改善



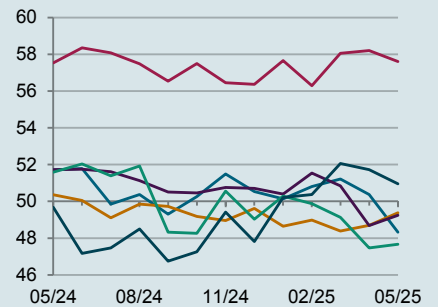
出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

欧州
■ EZ ■ GB ■ RU ■ TR
季節調整済み指数、>50 = 前月比で改善



出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

アジア太平洋
■ CN ■ JP ■ IN ■ ASEAN ■ KR ■ AU
季節調整済み指数、>50 = 前月比で改善

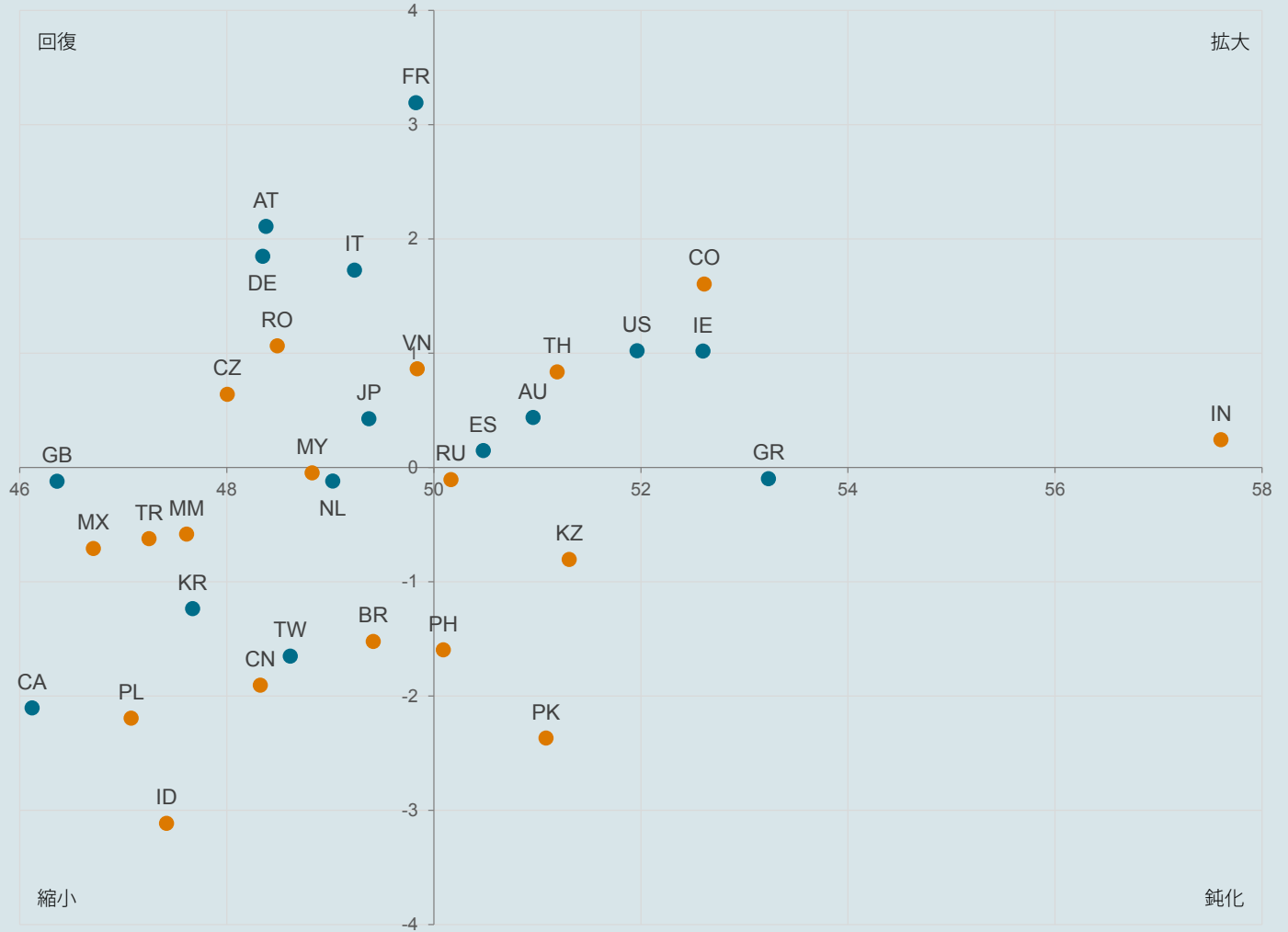


出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

凡例

- | | | | | | |
|--------|---------|---------|--------|---------|-----------------|
| US 米国 | BR ブラジル | EZ ユーロ圏 | RU ロシア | CN 中国本土 | ASEAN 東南アジア諸国連合 |
| CA カナダ | MX メキシコ | GB 英国 | TR トルコ | JP 日本 | KR 韓国 |
| | | | | IN インド | AU オーストラリア |

■ 先進諸国 ■ 新興諸国
 X軸 = PMI、季節調整済み、>50 = 前月比で改善、Y軸 = 6ヶ月平均に対するPMIの変化



出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

拡大
 地域は6か月のトレンドより速いペースで拡大している。右に位置する地域ほど増加率が高く、上に位置する地域ほど増加の加速が顕著に見られる。

鈍化
 地域は6か月のトレンドより遅いペースで拡大している。右に位置する地域ほど増加率が高く、下に位置する地域ほど増加の減速が顕著に見られる。

縮小
 地域は6か月のトレンドより速いペースで縮小している。左に位置する地域ほど縮小率が高く、下に位置する地域ほど減少の加速が顕著に見られる。

回復
 地域は6か月のトレンドより遅いペースで縮小している。左に位置する地域ほど縮小率が高く、上に位置する地域ほど縮小率の減速が顕著に見られる。

凡例

AT オーストリア	CZ チェコ共和国	ID インドネシア	KZ カザフスタン	PK パキスタン	TW 台湾
AU オーストラリア	DE ドイツ	IE アイルランド	MM ミャンマー	PL ポーランド	US 米国
BR ブラジル	ES スペイン	IN インド	MX メキシコ	RO ルーマニア	VN ベトナム
CA カナダ	FR フランス	IT イタリア	MY マレーシア	RU ロシア	
CN 中国本土	GB 英国	JP 日本	NL オランダ	TH タイ	
CO コロンビア	GR ギリシャ	KR 韓国	PH フィリピン	TR トルコ	

調査手法

S&Pグローバル日本製造業PMI®は、S&Pグローバルが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。

調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。データ収集は2001年10月に開始されました。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体

として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です:新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

調査規模

製造業400社

調査開始時期

2001年10月

調査項目

生産高、新規受注数、新規輸出受注、生産高予想、雇用、受注残、完成品在庫、購買数量、サプライヤー納期、購買品在庫、購買価格、製品価格

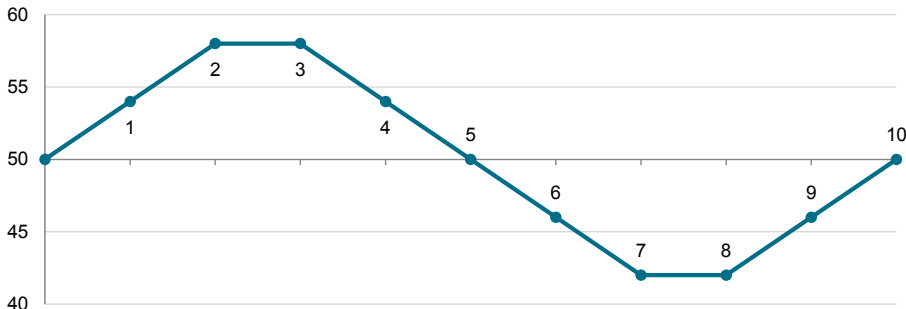
対象セクター

国際標準産業分類 (ISIC) コード

- 10 食品
- 11 飲料
- 12 たばこ製品
- 13 繊維製品
- 14 衣服
- 15 皮革および関連製品
- 16 木材・木製品
- 17 製紙・紙製品
- 18 印刷業・記録媒体複製業
- 19 コークス・精製石油製品
- 20 化学品・化学製品
- 21 医薬品
- 22 ゴム・プラスチック製品
- 23 その他の非金属鉱物製品
- 24 第一次金属
- 25 金属製品
- 26 コンピュータ、電子製品、光学製品
- 27 電気機器
- 28 その他の機械器具
- 29 自動車、トレーラ、セミトレーラ
- 30 その他の輸送設備
- 31 家具
- 32 その他の製造業
- 33 機械器具修理・設置

指数の解釈

季節調整済み指数、>50 = 前月比で増加



出所: S&PグローバルPMI。©2025 S&P Global

凡例

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|-------------|
| 1 横ばいから増加へ | 4 増加。以前より遅いペース | 7 減少。以前より速いペース | 10 減少から横ばいへ |
| 2 増加。以前より速いペース | 5 増加から横ばいへ | 8 減少。以前と同じペース | |
| 3 増加。以前と同じペース | 6 横ばいから減少へ | 9 減少。以前より遅いペース | |

詳細情報

S&Pグローバルについて

S&Pグローバル・インク (NYSE: SPGI) は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモデティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。詳細についてはウェブサイトをご覧ください：

www.spglobal.com

PMI (購買担当者指数) について

「購買担当者指数™ (PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。

お問い合わせ

Annabel Fiddes
エコノミクス・アソシエイト・
ディレクター
S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
電話：+44-1491-461-010
annabel.fiddes@spglobal.com

広報部門

S&Pグローバル・マーケット・
インテリジェンス
press.mi@spglobal.com

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標又は登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料（「コンテンツ」）の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー（「コンテンツプロバイダー」）は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落（疎漏など）、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失（喪失利益や逸失利益、機会費用など）について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

PMI®

by **S&P Global**